【参考資料－1】

第22回　鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会

地域を“みず”から守る。
“流 域 治 水”

鳴瀬川水系の流域治水の取り組みについて

令和7年7月24日（木）

東 北 地 方 整 備 局
北上川下流河川事務所

流域治水

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国土交通省

鳴瀬川水系多田川流域の流域治水本格スタート

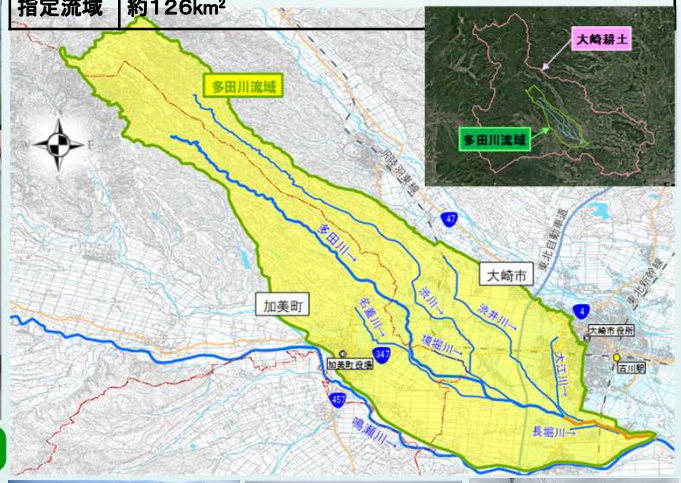
地域を“みず”から守る。
“流 域 治 水”

～多田川流域　巧みな水管理と共に進化する流域治水協議会発足！！～

鳴瀬川水系多田川流域では、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和4年7月洪水など、近年、度重なる洪水により甚大な被害が発生していることから、浸水被害の防止・軽減に向けた流域水害対策について関係機関により議論・検討を実施。
令和7年3月26日に、**特定都市河川及び特定都市河川流域に指定。**
令和7年7月18日に、**多田川流域水害対策協議会発足式を開催。今後、流域関係者との実務者会議等を経ながら令和8年3月末を目標に『多田川流域水害対策計画』を策定予定**

指定予定　特定都市河川・特定都市河川流域

指定河川	鳴瀬川水系多田川等の　計7河川 （多田川、長堀川、大江川、渋井川、渋川、境堀川、名蓋川）
指定流域	約126km²



流域治水の推進に向けたメッセージ

大崎市　伊藤市長

加美町　石山町長

東北農政局　平山参事官

大崎土地改良区　菅原理事長

平成27年 関東・東北豪雨

令和元年東日本台風

大崎市街地の冠水状況

流域のあらゆる関係者が連携し、「大崎耕土」の巧みな水管理と共に、地域を“みず”から守る取り組みを本格的に開始します！！

「吉田川（なりわい）・高城川 命と生業を守る流域治水推進計画」 取り組み状況

地域を“みず”から守る。“流域治水” SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鳴瀬川水系吉田川等、高城川水系高城川等は、令和5年7月18日に**特定都市河川及び特定都市河川流域に指定**。
令和6年11月18日、東北地方“初”となる「吉田川・高城川 命と生業を守る流域治水推進計画」（法定名称：流域水害対策計画）を策定。

位置図

河北新報記事より（R7.3.29）
「ふるさと納税の寄付金を田んぼダムの補助に充てることも検討する。水害の軽減に貢献する農家にしっかり還元し、好循環を生み出したい。」（町担当者）

【 宮城県田んぼダム実証コンソーシアム ※市町村、土地改良区、農業者が参画 】

「田んぼダム」の流出量調整器具の設置や普及・啓発など、取組の拡大に向けた活動を展開

＜還元＞

吉田川における命と生業を守る流域サポート

【株式会社おおさと地域振興公社】

地場産品販売・ふるさと納税返礼品

【りゅうちるネットワーク（事務局）】

吉田川・高城川流域で生産された農産物の流域治水ブランド化を図るため、令和6年9月、マスコットキャラクター『りゅうちる』を商標登録へ出願、同年11月に認定

流域治水オフィシャルサポーター
りゅうちるネットワークとは？

“みず”から守る流域治水を実践しながら、安心・安全の中で人々が交流し、生業を守り快適に暮らすことができる地域の形成を目指して、賛同した個人・法人・団体及び行政機関のメンバーで構成される河川協力団体

加工品等のブランド化
（ロゴマークを活用したブランド展開）

＜防災・減災の取組＞
食料の生産とともに、農地の雨水貯留・浸透機能の保全及び浸水被害の軽減効果により流域治水へ寄与

雨水の流出をゆっくりと排水

営農者
天神ﾌｧｰﾑ・なかしだﾌｧｰﾑ

田んぼダムを活用した米の生産

＜産業政策による後押し＞
加工品等のブランド化や
ふるさと納税返礼品への活用等による販売促進